

2023 年度 第 1 回広報委員会 議事録

- 【日 時】 2023 年 4 月 6 日 (木) 13:30 ~ 17:00
【会 場】 ハイブリッド会議 (日本代協 事務局会議室、Zoom)
【出席者】 大和委員長

北東北	成田	南関東	田中	東京	廣田	北陸	土田
阪神	由良	東中国	野呂	九州南	原田		

- 【オブザーブ】 山中副会長
【事務局】 坂部長、出口部長、大谷部長 【司会】 廣田副委員長 【議事録】 事務局

【委員会の要旨 (確認、決定したこと)】

1. 広報活動アンケート未回答の代協へ 4 月末までの回答を督促
2. 昨年度実施した「みなさまの保険情報アンケート」結果を共有する
3. 全国一斉 Zoom ミーティングを 8 月末に開催 (日程は調整)
4. 「保険代理業の仕事の魅力と存在意義」PT 会議を 5/16 開催
5. LINE WORKS の登録 (広報委員会内で先行活用)

議 事

. 挨拶

1. 大和委員長挨拶
 - ・新年度の第一回目の委員会となるが、昨年度 2 回開催した全国一斉 Zoom ミーティングを含めて 22 年度の振り返りを行い、23 年度の事業計画・委員会諮問事項を共有していきたい。
 - ・事前に 23 年度広報委員会方針を配信しているが、広報委員会は数値目標にとられることのない比較的自由的な委員会ではないかと作成しながら改めて感じた。さらに、今年度は PR 企画についても新しい形で推進していくので自由度が高く、皆さんから忌憚のない意見をいただき良いものを作っていきたい。
2. 司会進行・議事録作成者の指名
 - ・司会進行に廣田副委員長、議事録作成者に事務局が指名された。

. 審議事項 1

1. 全国会議の振り返り
 - 2/20 に開催した第 2 回広報委員会 全国一斉 Zoom ミーティングの振り返り (意見交換) を行った。
 - (主な意見)
 - ・北海道で独自の活動 (タオルボランティア) を行っているなど、様々な意見が出ていたが、広報活動として広報委員だけでなく他の委員会とも連携し会員に広報活動を連携していきたい。
 - ・SNS の活用で視聴数だけを追っているのか、栃木ではイベント毎にチラシを作成し配布しているように違った広報活動をしている。また、東京代協では HP の管理専門部署があるなどの意見があり参考になった。
 - ・地域性があり活動が異なっているが、参考になる活動は取り入れていきたい。全国会議がなければ代協独自の活動しか行えていなかったのではないだろうか。半年に 1 回、少なくとも 1 年に 1 回は開催していくべきだと思う。
 - ・広報担当者がいなかったり、HP 管理を長年同じ会員が担当しているなど苦労している代協が

ある。また、新聞広告だけでなく TV 媒体の CM を作っている代協もあった。

- ・人が足りなくマンパワーに頼っている代協が多くある。次の広報活動をどうするのかという活発な議論ができていないので、労力を軽減するシステムや仕組みができないと停滞してしまうのではないかと。
- ・前回の全国会議で連絡先を交換していたので連絡を密にとれており、スムーズな意見交換ができた。対外的広報として新聞だけでなく、地域のコミュニティ新聞に広告を出しお客さまから好評だったという声があった。新聞広告からぼうさい探検隊の申し込みがあったので効果はあるのだと思う。対内広報については PR 動画、みなさまの保険情報の浸透ができておらず今後は他の地区の担当ブロック協議会にも参加していかなければならないと感じた。
- ・新聞広告、TVCM を多く活用しているが、FaceBook からインスタにシフトしている代協もあり、会員の従業員にも浸透できているという声もあった。LINE グループを情宣し、メールと併せてセミナーや例会の案内をしている。みなさまの保険情報推進は名入りにして活用することでお客さまから好評を得ている。広告活動は、会員が減ることによって広告費用が減っていることが課題（提携業者と連携していくことも必要）。また、みなさまの保険情報のアンケート結果（昨年度実施）を共有して欲しいとの意見があった。

（大和委員長より）

- ・全国会議の後、広報活動のアンケート回答を全国の広報担当者に依頼しており途中経過ではあるが 63%が宣伝広告費を使っており、500 万使用している代協もあった。
- ・対内広報として HP を十分に活用しきれていないようである。
- ・全代協からの回答が揃ったら改めて共有するので、4 月末までに回答を督促していただきたい。

2. 全国会議を受けての今後の展開について（アンケート結果から）

- ・次回の全国会議では、広告費の使用額に応じたグループを作成し興味のあるグループに参加してもらおうと思っている（案ではあるが）。
- ・後ほど触れるが、コミュニケーションツールとして LINE WORKS を展開したいと思っているので、この話もしたいと思う。

上記意見を踏まえ、全国一斉 Zoom ミーティングを 8 月末に開催することとなった（日程は後日調整）。

3. 「みなさまの保険情報」活用推進

(1) 2023 年 7 月号 紙面編集会議報告

3 月 29 日（水）に開催した 7 月号編集会議の内容を新日本保険新聞社 金井氏から報告があった。

- ・1 面の保険業界のテーマについては、以下の 4 案が提示された。
 - 悪質な特定修理業者への注意喚起
 - ドライブレコーダーの効用と装着の促進
 - 電動キックボードの規制緩和と事故防止の必要性
 - サイバーセキュリティリスク
- ・編集会議 PT メンバーの多数決により 案「悪質な特定修理業者への注意喚起」を 1 面テーマに決めた。
- ・2 面以降のテーマについて、以下提示された案で決定した
 - 2 面：消費者に役立つ保険関連情報「死亡」
 - 3 面：労務・労災リスクに備えよう「自営業者の皆さまの自家年金づくり」
 - 4 面：健康に役立つストレッチ「内もものトレーニング」

（今後のテーマについての意見・要望）

2～3 面の今後のテーマについて意見交換を行った。

- ・高齢化社会に向けて、資産形成（投資信託、変額保険等）について取り上げて欲しい。

- ・労災リスクについて、使用者責任について触れて欲しい。
- ・取り上げるテーマは、法人(経営者)と個人(従業員)が共有できる内容にして欲しい。
- ・10月号までは執筆者が決まっているので、1月号以降で執筆者とテーマについて検討していただきたい。

1面のテーマについての要望

- ・ドラレコについて取り上げてほしい。
- ・サイバー保険の売り上げが伸びているので、サイバーリスクについて触れて欲しい。
- ・ロードサービスの不正請求が頻発(地域による)してきているので、注意喚起して欲しい。
- ・関東大震災から100年となるので、震災関連を取り上げて欲しい。

次回の編集会議で決定していく。

(2)4月号購入状況

4月号の購入状況は3.7%、次回(4月号)お知らせチラシの執筆担当は田中委員であることを確認した。

各委員の取り組み状況を確認した。

(主な意見)

- ・福井では会長から理事会構成メンバーに購読を依頼したうえで、使い勝手の意見をもらうようにしている(今の所意見はない)。
- ・個別に購読を進めたが無関心。購読の意義(顧客との接点強化)は少々伝えてきたが理解してもらえないので申込書を持っていき、その場で記入してもらえないかもしれない。
- ・各支部長から会員に進めて欲しいと依頼したが、これは広報の仕事だから筋が違うと言われた。諮問事項なので上からしっかり下していただきたい。
- ・全国会議でも話が合ったが大口購入の会員は名入れで注文して自社で作成している体で顧客に郵送している。
- ・広報委員が口コミで依頼するのは限界があるので日本代協の理事会、会長懇談会でも強く5%目標を伝えていただきたい(他委員会の項目は三冠王の項目になっている)。
- ・PDFのみだけの購読でも問題はないので推進できるのではないかな。
- ・PDFをHPに貼り付けている会員もいる。3か月に1回はHP更新にもなる(紙をコピー、PDF化するの厳禁)。

(3)㈱新日本保険新聞社 今井社長挨拶

- ・みなさまの保険情報の編集等含めてご尽力いただき感謝申し上げます。
- ・できるだけ会員の皆様に活用いただけるよう執筆者の選考に力を入れていきたいので引き続きよろしくお願ひしたい。

4.2022年度PR企画について

共同広告社、NewsTV社から2022年度PR企画制作の配信結果報告が行われた。

(NewsTVレポート)

- ・70秒弱の長尺動画(トータルプランナーの周知)を3本作成し、広告配信(1/23~2/22)まで一気通貫で行った。
- ・配信媒体は、NewsTV Network、Facebook、Twitter、YouTubeを活用し、視聴目標回数1,100,00回を目標とした。
- ・配信結果は、3,148,209回(達成率272.0%)、視聴完了回数253,058回(達成率155.3%)であり認知・内容の獲得ができた。
- ・視聴回数の最大はTwitter、視聴完了回数のは最大はYouTubeであった。両指標ともFaceBookは低パフォーマンスであった。
- ・その他クリエイティブ(動画)の視聴回数については資料を参照していただきたい。
- ・今後については、FaceBookは活用せず、NewsTV Network、YouTube、Twitterを利用するこ

とを推奨したい。また、今回利用しなかった Yahoo! や Tver などの利用も新たな手法として活用できるのではないかと考えている。

(マネープラス レポート)

- ・1/19~1 か月間 MONEY PLUS の読者に 15,000PV を目標に配信した結果 22,929PV を獲得できた。
- ・また、記事内の LINK(日本代協)クリック数は 85 であった。
- ・専門的な内容や記事ボリュームの関係で、読了率には苦戦気味ではあるが、読了した方が「損害保険トータルプランナーのいる代理店検索」ページへの流入を作り出す事ができた。
- ・Yahoo! と Google の検索結果の 1 ページ目へ掲載を獲得、今後も記事はネット上に残るため、損害保険トータルプランナーに関してネットで情報収集する方に「トータルプランナーのいる代理店検索」ページへ流入させるための新たな土台ができた。
- ・記事への流入を継続できれば、損害保険に加入するタイミングの方への態度変容に繋がると思う。

(popIn)

- ・記事コンテンツに流入させるための広告施策だが、低 CPC(クリック単価)をキープしたままの広告運用ができ、最大値に近いクリック数を獲得できた。

(委員からの意見)

- ・広告と保険という業界はマッチングしにくい中で一定の成果はあったと思う。

・報告事項

1. 1 年間の振り返り

大和委員長が 1 年間の広報委員会活動の振り返りを行った。

- ・全国一斉 Zoom ミーティングを 2 回開催したが、横ぐしを通すことができたのではないだろうか。
- ・23 年度は形を変えるが、作成した PR 動画については、トータルプランナーの事がコンパクトにまとめた動画ができた、との声をいただいております。記事含めて長いスパンで活用できるのではないかと考えている。

2. 報告事項

(1) 日本代協 2023 年度 事業計画

大和委員長から、事前配信した日本代協 2023 年度 事業計画のうち広報活動の展開についての説明があった。

(2) 2023 年度 広報委員会 諮問事項

大和委員長から、2023 年度 広報委員会に対する諮問事項について説明があった。

- ・保険代理業の仕事の魅力と存在意義を伝えるための PR 施策の検討・実施・活用(対外広報)
- ・「みなさまの保険情報」の利用拡大に向けた情報提供と具体的推進
- ・「日本代協ニュース」の作成、配信(対内広報)
- ・会員へ、より情報が伝わる手法の研究、検討

・審議事項 2

1. 2023 年度の対外広報・対内広報について

大和委員長から、2023 年度の対外・対内広報についての説明があった。

- ・みなさまの保険情報の推進は、由良副委員長を PT リーダーとして編集会議の運営を軌道に乗せていきたい。また、推進についても本 PT にて定期的な情宣と拡販の取組を行いつつ、本誌が今後どのようにあるべきかを検討していただきたい。
- ・昨年度は、代協の魅力伝えるツール類の整理を行う PT として廣田委員長をリーダーに推進してきたが、PR 動画作成がメインとなってしまう十分な検討ができなかった。今年度は新し

い PR 企画を PT で検討していただきたいが、今回の PR 企画はまったくのゼロスタートとなるので、4月～7月「新 PR 企画のおおよその方向性の検討(どんな媒体で、何を、誰に伝えるのか)」、7月～11月「具体的な方法の検討、業者の選定」、11月～3月「立案した計画の実行・具体化」の3つのステップでPT内での意見交換・検討をしていただきたい(PT 会議を5/16に開催)。

- ・会員へ、より情報が伝わる手法の研究、検討については「日本代協から全国会員への情報発信の改善検討」と「日本代協の理事会や委員会運営の効率化に資するツールの検討」を推進していきたい。
- ・まず、全国会員への情報発信については、日本代協 HP「書庫」の改善である。現状、日本代協からの情報発信はメールで送信されているが、多くのメールに埋もれてしまっており十分に伝わっておらず、情報や資料を探すときは「過去のメールから探す」か「事務局に問い合わせる」ことが多いのではないかと。この状況を改善するために、委員会メンバーで「現状のここが不便」「こうだと使いやすい」という意見交換を行いたい。そのうえで、HP 改善に向けた具体案と概算費用を策定し、次年度に改善していきたいと思っている。今、皆様が思っている改善点(要望)があれば、後ほど聞かせていただきたい。
- ・次に、日本代協の理事会や委員会運営の効率化に資するツールについては、現在コミュニケーションツールとして direct を活用しているが、会話だけに留まっている。会話機能以外で組織図やカレンダー、掲示板機能がある LINE WORKS の導入を検討したい。まずは、広報委員会です試験的に活用したいので登録していただきたい。

(日本代協 HP 改善についての主な意見)

- ・神奈川代協でも HP 書庫の改善を進めているが、将来的に会員毎の ID・パスワードを付与していこうと考えている(大阪代協、東京代協ではすでに会員に ID・パスワードを付与して運営委している)。
- ・導線がしっかりしていない気がするので、そこを改善していけたら良いと思う。
- ・「書庫」には営業に使えるツールを掲載し、目次(案内)から探し出せるようにしたら良いのではないかと。
- ・「会員専用書庫」と「書庫」が分かれているので分かりにくい。各種議事録も年度単位で表示した方が見やすくなると思う。
- ・会員専用書庫内は議事録が上部にあって、代理店経営サポートデスク支援ツールが下部にあるのはもったいない。有益な情報は上部に配置した方が会員も積極的に見に来るのではないかと。サポートデスクの有効活用を進めるべきではないかと(東京代協ではサポートデスク活用セミナーを開催しているので参考にしていきたい)。

・閉会・その他

1. 情報提供および本日の到達点の確認

事務局から下記情報提供があった。

- ・理事会、臨時総会、金融庁と代協会長との意見交換会、活力研について、議事録を配信しているので確認していただきたい。
- ・日本代協事務局が5月末に新大手町ビル(東京駅前)に移転する予定である。

事務局より、本日の決定事項を再度確認した。

大和委員長から次回以降の委員会運営について原則リアル開催であり、やむを得ず欠席の場合は地域担当理事に報告し代理を立てることの徹底があった。

2. 山中副会長閉会挨拶

- ・昨年、広報委員に任命されてから、あっという間に1年が過ぎようとしているが、ようやく広報委員会が何をやっているのかが見えてきたのではないだろうか。私自身もその一人である。
- ・全国の広報委員会を開催して、各代協が新聞、TV、HP、SNSなどを活用した広報活動を行っていることが見えてきたと思う。広報費として500万円超の予算を費やしている代協がいくつもあることは、目からうろこである。

- ・HP の運営も費用が掛かるだけでなく、専門的な知識が必要であることから思うように運用できていない代協が多いことも見えてきた。
- ・先進的に活用している東京代協や大阪代協の意見を取り入れることで、出欠確認や情報提供が優しく・安価に推進できるのではないかと思うので、広報委員会で意見収集していただきたい。
- ・先ほど、委員長から話があったが、委員会後の懇親会も含めたリアル開催で意見交換を行い、諮問事項を推進していただきたい。
- ・本日は長時間にわたりお疲れ様でした。

以 上

○第 2 回委員会開催日：2023 年 6 月 20 日（火）13:30-17:00

○第 3 回委員会開催日：2023 年 9 月 13 日（水）13:30-17:00

○第 4 回委員会開催日：2024 年 1 月 23 日（火）13:30-17:00